

僕が思う「かわちながの」

美加の台中学校 1年

浅井 壮馬

僕は生まれてからの十三年間ずっと河内長野に住んでいます。河内長野はとても自然に恵まれていて、施設や環境が整っている、いいまちだと思います。

また、河内長野は市民が参加できる行事も多く、人と人が接する機会がたくさんあり、それも河内長野の魅力の一つだと思います。

こんなにいい所なのに最近ではテレビや新聞で、河内長野の良くない事を多く目にするようになりました。僕が地域探検で河内長野警察署へ行ったとき警察署の人からお話を聞かせていただきました。そこで、河内長野は犯罪や事件などは少ないと聞いていました。しかし最近、河内長野でも大きな事件や大きな事故がよく起っています。なので僕は、河内長野というまちを犯罪がなくて、安心して住めるまちにしていきたいと強く思いました。これからもっといい事で有名になってほしいと思います。

僕はこれまで、バリアフリーについて何度か勉強してきました。僕が思うバリアフリーとは、目の不自由な人や足の不自由などの障害者が、安心してまちに出てこられるようにするためのものだと思います。障害者にとって、このバリアフリーはまちにかかせないものだと思います。しかし、僕は一人一人が、「障害者を助けていこう。」という気持ちになっていけば、バリアフリーより、もっともっと障害者のかかせないものになっていくと思います。

河内長野がさらにいい町になっていくためには、市民全員の努力と、心がけが必要です。例えば、環境をよくしていくために、ペットボトルなどのリサイクルに積極的に参加していったり、なるべくゴミを出さないようにして、ゴミの量を減らしたりと、小さなことでも少しずつ、少

しずつと積み重ねいくことが大切だと思います。

このような努力を続けていけば、河内長野市の未来も、大きく変わっていきけると思います。

僕はこれから、市の行事や、市の取り組みに、多く関わっていき、市を盛り上げていきたいです。そして、みんなで力を合わせて、「かわちながの」をとてもいいまちにしていきたいと思います。